

都立 第五福竜丸展示館ニュース

2004.01.01  
No.304

# 福竜丸だより

発行：財団法人 第五福竜丸平和協会 連絡所：東京都江東区夢の島3-2 〒136-0081 第五福竜丸展示館内

Tel.03-3521-8494 Fax.03-3521-2900 E-mail:fukuryumaru@msa.biglobe.ne.jp URL http://d5f.org

## ビキニ水爆実験・第五福竜丸被災五〇年

### この船をみんなのものに

財団法人第五福竜丸平和協会会長 川崎 昭一郎



展示館には年間五〇〇校近い学校見学、約四万人の小・中学・高校生の来館がある

明けましておめでとうございます。

今年は、第五福竜丸のビキニ水爆被災からちょうど五〇周年に当たります。これを記念して、私も財団法人第五福竜丸平和協会では第五福竜丸展示館において、来る二月一四日オープンで明年にかけてさまざまな記念プロジェクトを実施します。

価値観が多様化し、とくに若い人びとがシャープな文化的感覚を持つている現在、平和をアピールする場合でも、正義感に訴えるやり方だけでなく、多角的なアプローチ、創意・工夫が求められます。

第五福竜丸を中心に、それを取り巻く館内壁面の常設展示パネルも、この機会に一新し、ビキニ事件当時、核被害の世界へのひろがり、こんにちまでの核兵器問題の時間的流れ、未来へのメッセージを、一目で把握し、社会・時代背景の中で頭に入れていただけるよう心掛けました。

アーティストやフォト・ジャーナリスト等の協力を得た特別企画展も随時行います。また、横浜、静岡、京都、和歌山、高知、大阪、などで巡回展を予定しています。

第五福竜丸船体および展示館所蔵資料についての図録が初出版されます。見学された上で本図録によっていっそう理解を深めていただけるものと思います。

皆様のご健勝とご多幸を祈念しつつ、五〇周年記念プロジェクトへの物心両面でのサポートを心よりお願い申し上げます。

## ビキニ事件から五〇年

### 第五福竜丸を知らない世代に伝える

#### ―記念プロジェクトに期待

安齋育郎

一九五四年三月一日、アメリカによる最大の核実験ブラボー水爆、この実験は、人類史の上でどのような意味を持つのでしょうか。

**人類的規模の破壊**  
それは想像を絶するすさまじい破壊力でした。広島原爆の一千倍以上の実に一五〇一七メガトンですから、それは第二次世界大戦で使われたすべての爆弾の破壊力の総計三メガトンの、五倍から六倍に相当します。

第二次大戦は、世界中に大きな犠牲をもたらし、多くの教訓を残して終ったはずなのに、わずか七〇八年後には、実際に使用されれば人類が絶滅しかねないような兵器が登場したわけです。

これは究極の暴力装置と言つてよいでしょう。

その被害はどうであったか。広島・長崎の原爆は、人の頭上に直接投下され二〇万人に及ぶ人びとを殺しました。

ビキニ水爆は、目に見えるような形で何万人、何十万人という死はもたらしてはいないけれど、マーシャル諸島の人びとや、第五福竜丸の乗組員二三人の半数以上がこれまで命をおとしているわけです。

実は、世界中にばら撒かれた放射性物質によって、統計的な数字で表されていない部分を、放射線障害によって命を奪われた人が数多くいたであろうことは科学的に推定できます。これはまさに地球上の人間とあらゆる生物に対する殺傷要因になりうるものの

登場だったわけです。

このような核兵器が人間に何をもたらすのかを深く認識できるかどうか重要な鍵です。

広島・長崎のように目に見える形での破壊の様相が表れていないだけに、その恐ろしさを知ることはなかなか難しいわけです。

#### 地球環境への重大被害

第二に、その大爆発は、大量の放射性物質を大気に撒き散らした。それは太平洋の海、海産物を著しく汚染するといふ、これも人類史上かつてなかったことが、人為的に引き起こされた。

このとき地球規模の気象異変も起こったことが、気象学者からも指摘されています。

いま、クライメイト・チェンジということで地球規模の気象変動が問題になっていきます。ブラボー爆発は、地球全体に影響を及ぼすような異変を、人間が自然に働きかけて引き起こすという時代の幕開けとも言えるものでした。

#### 政治のあり方が重要

同時にブラボー爆発とその大きな被害をもたらした政治のあり方を知ることが大切だと思います。

ブラボーに象徴される核軍拡競争というのは、国家と国家が軍事力のバランスの上に安全保障を考えることで行きたつた、その究極を示していると言えます。

武力の対決は、必ずエスカレートし、それは第二次大戦を引き起こし、そしてその終結からわずか四年余りで、核の開発競争が始まり、さらに水爆という人類史的な破壊の極致をつくりだしました。

しかし、これは国際政治が武力を背景にして対決するという時代にたいするきわめて重い警告であったわけです。

武力に根ざした政治の行きつくところは、破壊の極致にほかならないことを深く理解しなければなりません。

#### ビキニ被災五〇年の意義

私たちはいま見てきた諸点を深く考えながら、ビキニ水爆五〇周年を有意義なものとして活用することが求められていると思います。

この水爆について知らない世代が多数であることは当然ですが、その時代を生きてきた人たちにとっても薄れゆく記憶になっている状況です。

その人たちとともにブラボー―水爆の人類史的、政治的意味を鮮明にし、想起起こすことを通じて、こんにちとこれからの人類の方向を問い直すことが大切だと思います。

その点で二〇〇四年のビキニ五〇年から二〇〇五年の広島・長崎六〇年にかけて、原水爆についての人類学的課題を世界的な広がりをもって知らせることは、非常に大きな意味を持つといえます。

#### 平和協会に期待

さて、第五福竜丸平和協会は夢の島の展示館を中心に五〇周年の記念事業にとりくんでいます。これと合わせて広く全国に知らせていく巡回展示を企画していることに注目しています。この展示会は、

焼津市歴史民俗資料館や日本

(3めん下につづく)

## 第五福竜丸五〇周年 プロジェクト・記念事業の紹介

\*記念特別展

△常設展示リニューアル  
オープニング

二〇〇四年二月一四日  
(土) 14:00~15:00

会場：第五福竜丸展示館

ビキニ水爆実験・第五福竜丸被災五〇年の記念事業の中心となる常設展示のリニューアルと所蔵資料の特別展示のオープニング・セレモニーをおこないます。

「ビキニ事件・第五福竜丸を知らない世代に伝える」をコンセプトに製作しています。



\*巡回展

第五福竜丸被災五〇年展

静岡、高知、京都、大阪などで開催を検討中です。協力

立命館大学国際平和ミュージアム、焼津市歴史民俗資料館、新聞博物館。

特別展と巡回展は、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社の後援を受けています。

◆3・1ビキニ事件記念のつどい

新藤兼人監督と語り観る映画『第五福竜丸』

二月二八日(土) 14:00~17:00

会場 夢の島マリーナ会議室/13:00~第五福竜丸見学会

第五福竜丸事件を扱った映画『第五福竜丸』は一九五九年春に公開されました。五〇年を記念し、展示館の見学会、映画の鑑賞と監督の講演をおこないます。(新藤監督は九一歳、二〇〇二年に文化勲章

を受章)。

を受章)。

◆岡本太郎『明日の神話』の第五福竜丸展

四月三日(土)~一日

日本の戦後前衛芸術の旗手、岡本太郎も第五福竜丸を描いていました。ビキニ水爆に触発された作品は、「燃える人」一九五五年、「明日の神話」一九六八年作で衝撃的です。岡本太郎記念館の全面的な協力で、「明日の神話」の原画を展示します。

オープニングには、記念館館長、岡本敏子さんの「太郎と原水爆：いのち」と題する記念講演がおこなわれます。

◆マーシャル諸島の人びとの五〇年展

五月一日~六月二七日

マーシャル被害の実情、人びとの声を伝えつづけて三〇年の写真家・ジャーナリスト島田興生氏プロデュース企画で開催します。

◆現代アート展「崩れゆく歴史：時、空間、場所」

七月一六日~八月一五日

アメリカの美術キュレーター、カリフォルニア大学助教のアーロン・カーナー氏企画プロデュースによるアート展。戦争の記憶、ホロコーストなど人間がもたらした破壊を時はどうのように変容させ、受け継ぐのか、という問題意識のもとに創作された若い現代アーティストの作品を中心に展示します。

「死の灰」をあびて五〇年の歴史を刻んだ第五福竜丸の船体と呼応させ、同時に台東区浅草にある、築百年以上を経たギャラリ「エフ」で作品展を開催します。

このほかに、「特別展示」

「久保山愛吉さんへの手紙」

「マーシャル被曝五〇年と地球」(豊崎博光プロデュース)

一月二〇日~〇五年一月二三日などがおこなわれます。詳細は次号で紹介いたします。

アメリカの美術キュレーター、カリフォルニア大学助教のアーロン・カーナー氏企画プロデュースによるアート展。戦争の記憶、ホロコーストなど人間がもたらした破壊を時はどうのように変容させ、受け継ぐのか、という問題意識のもとに創作された若い現代アーティストの作品を中心に展示します。

(2めんからつづく)

新聞博物館、立命館大学の国際平和ミュージアムが協力し、ジャーナリズムも朝日、毎日、読売の三大紙が後援しています。まさに掘り起こし、人びとの問題意識に上るような試みとなっています。

ビキニ水爆、核兵器が人類につきつけた危機、その危険をいち早く感じ取った人びとが、異議を唱え、世界の政治指導者にアピールしていったか、その人間的な運動を描き出していくことも重要でしょう。また、科学者の立場からは、ラッセル・アインシュタイン宣言が、ビキニ水爆がもたらした破壊のもつ意味を把握し、国家ではなく人類、ヒトという種の一員として人間がゆくべき方向への問題提起、警告を発したことも想起すべきです。

第五福竜丸展示館から日本中へ世界各地へ、さまざまな人びとが協力し合い、人類史的意味を明らかにし理解を深める試みがすすめられることを期待します。(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

第五福竜丸展示館から日本中へ世界各地へ、さまざまな人びとが協力し合い、人類史的意味を明らかにし理解を深める試みがすすめられることを期待します。(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

第五福竜丸展示館から日本中へ世界各地へ、さまざまな人びとが協力し合い、人類史的意味を明らかにし理解を深める試みがすすめられることを期待します。(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

第五福竜丸展示館から日本中へ世界各地へ、さまざまな人びとが協力し合い、人類史的意味を明らかにし理解を深める試みがすすめられることを期待します。(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

第五福竜丸展示館から日本中へ世界各地へ、さまざまな人びとが協力し合い、人類史的意味を明らかにし理解を深める試みがすすめられることを期待します。(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

第五福竜丸展示館から日本中へ世界各地へ、さまざまな人びとが協力し合い、人類史的意味を明らかにし理解を深める試みがすすめられることを期待します。(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

第五福竜丸展示館から日本中へ世界各地へ、さまざまな人びとが協力し合い、人類史的意味を明らかにし理解を深める試みがすすめられることを期待します。(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

第五福竜丸展示館から日本中へ世界各地へ、さまざまな人びとが協力し合い、人類史的意味を明らかにし理解を深める試みがすすめられることを期待します。(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

第五福竜丸展示館から日本中へ世界各地へ、さまざまな人びとが協力し合い、人類史的意味を明らかにし理解を深める試みがすすめられることを期待します。(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

## 協会設立30周年記念会開く

財団法人第五福竜丸平和協会は、11月29日、財団設立30周年の記念祝賀会を開きました。

会は、坂野直子評議員の司会ですすめられ、川崎昭一郎会長のあいさつ、安田和也事務局長から50周年記念事業が紹介され、東京地婦連の田中里子さんの乾杯の発声をうけ、なごやかにすすめられました。

会には、第五福竜丸の保存のとりくみ当時から平和協会に協力されてきた各界の55名が参加。日本被団協の岩佐幹三さん、俊鶴丸で放射線を測定した岡野真治さん、化学者、理事の猿橋勝子さん、子どもを守る会の中村博さん、元乗組員の大石又七さん、ジャーナリストの岩垂弘さん、東京都生協連の海老沢恵子さん、東京の被爆者の会の米田チヨノさん、立命館大学国際平和ミュージアムの友藤信明さんをはじめ15名から祝辞が寄せられました。

また、東京都建設局東部公園事務所長の伊藤精美さん、焼津市長戸本隆雄さん、広島市長秋葉忠利さん、長崎市長伊藤一長さんからメッセージが寄せられました。会は、藤田秀雄協会副会長のあいさつで閉会しました。なお、参加者には、第五福竜丸と平和協会の歩みを記した冊子と夢の島にある「三宅島ゆめ農園」で栽培されたパンジーの鉢植が記念に配られました。



## 「わたしとビキニ事件」 手記募集

第五福竜丸の被災から50年、事件以後に生まれた世代が国民の7割近くを占めています。こうしたもとの平和協会は、「事件」を後世に伝え遺そうと、「ビキニ事件」「市の灰」「原子マグロ」「放射能雨」といった当時の記憶を記録することをよびかけています。

第五福竜丸の被災、たくさんの漁船の被害は、漁業界や水産加工業に深刻な損害をもたらし、放射能雨は国民生活をはじめ経済や文化にも影響しました。原水爆反対の国民運動の大きな契機ともなりました。水爆実験がもたらした被害は、いまなおマーシャル諸島の人々を苦しめ、日本の被害についても不明なままとなっています。

平和協会では、事件についての手記募集を通じて、人々のなかにあるビキニ事件を個人の記憶から社会の記憶として残し、またさまざまな事件にまつわる資料などの収集もすすめていきたいと考えています。

手記・回想の募集の締め切りは、当面3月31日まで、字数は千字以内で形式は自由ですが、事実にもとづくもので、創作など文学作品は除きます。原稿は、郵送もしくはFAX、メールでも結構です。

送り先、〒136-0081東京都江東区夢の島3-2 第五福竜丸平和協会まで。  
電話03-3521-8494、  
FAX03-3521-2900、Eメールは、  
fukuryumar@msa.biglobe.ne.jp  
URL <http://d5f.org>

## 被災50周年を前に事件に ついての新聞報道

朝日新聞は、03年11月16日の朝刊

で、「第五福竜丸にスパイ容疑」の見出しで、第五福竜丸にたいし、米中央情報局（CIA）が水爆実験をスパイしていたとの疑いで調査をしていた報告書が米公開機密文書のなかから見つかったと報じました。

\*

朝日新聞11月20日付け朝刊「幻の航海日誌」の見出しで、第五福竜丸の水爆実験に被災したときの航海日誌のコピーが米国立公文書館に保管されていることが分かったと報じました。この航海日誌は、事件直後に第五福竜丸の被災位置を確認するための資料として清水海上保安部に提出、その後所在が分からなくなっていたものです。

\*

共同通信配信、静岡新聞、中国新聞など12月9日付け朝刊には、「久保山さんの病理標本、米が調査」の見出しで、第五福竜丸の無線長久保山愛吉さんが死亡し国立第一病院で病理解剖された後に、遺体の一部、組織の病理標本がアメリカに送られていたことが、ネバダ州の核実験公文書館の内部文書で明らかになった、と報じました。

## 中国から2組の代表団来館



12月2日と19日、中国平和軍縮協会代表団8名と中国青年代表団11名が来館しました。協会の川崎会長のあいさつ、職員の案内で熱心に見学しました。